

第3回 北陸橋梁保全会議（令和元年10月開催）

- 北陸独自の取り組みとして、橋梁保全に関する情報交換・発信のプラットフォームとして、産・学・官が連携し、橋梁保全に関する技術の向上、研鑽を目的として実施
- 平成25年より3年毎に実施しており、今回で3回目の開催

1. 開催概要

- 開催期間：令和元年10月28日(月)～29日(火)
- 開催場所：新潟グランドホテル
- 参加者数：1,092名(2日間計)
- 主催：北陸橋梁保全会議実行委員会
- プログラム
 - ◆基調講演
 - ◆報文発表(44課題)
 - ◆パネルディスカッション
 - ◆技術展示(27ブース)

2. 開催状況

◆基調講演



講師

横浜国立大学 上席特別教授
元内閣府SIPプログラムディレクター 藤野 陽三氏
テーマ

「道路保全に向けての技術開発と
それに携わる皆様への期待」

◆パネルディスカッション



テーマ：「橋梁保全のさらなる向上を目指して」
座長：丸山 久一氏(長岡技科大 名誉教授)
パネリスト：

徳光 卓氏(プレストレスト・コンクリート建設業協会)
本間 順氏(日本橋梁建設協会)
初鹿 明氏(建設コンサルタンツ協会)
木村 祐二氏(北陸地方整備局道路部)
坂西 和也氏(新潟県土木部)
古俣 弘和氏(新潟市土木部)
植野 芳彦氏(富山市 建設技術統括監)
山崎 エリナ氏(写真家)

◆報文発表 44編



◆技術展示 27ブース



祝辞
(益田新潟県副知事)



祝辞
(吉岡北陸地方整備局長)



開会挨拶
(岩見実行委員長)



閉会式：会議宣言
(河合実行委員会副委員長)

会議宣言

私たち、北陸橋梁保全会議関係者は、本日議論が進められた橋梁保全のセカンドステージに向けて、

1. 橋梁保全に関する蓄積してきた技術・技能の伝承・研鑽を図る
 2. 補修と点検等新技術の研究開発を進め、積極的に活用する
 3. 本会議をプラットフォームとして、更なる「産官学」の情報共有と連携を進め、全国に向けて情報を発信する
- これらを進めることにより、北陸地域の優れた橋梁保全技術を次世代に継承していくことを、ここに宣言する。

令和元年10月29日 北陸橋梁保全会議